

内場が生んだ孤高の詩人！ 宮武孝吉 著

詩集  
内場幻想  
(げないば  
げんそう)

半世紀を超える詩作を集成 80歳にして編んだ初詩集

《最新刊》

高松市塩江町「内場池」昭和27年、内場ダム完成で数集落がダムの底に沈んだ。表題作他33編収録。著者(みやたけ・たかよし)昭和13年東京生まれ、19年香川県に疎開、高松一高卒。千葉県詩人クラブ会員、中大詩友会・視界・現代詩の会・詩人会議元会員。千葉県佐倉市在住。

A5判・並製 定価1296円(税込)

大空社出版

おおぞらしゃしゅつぱん

〒114-0032 東京都北区中十条4-3-2

☎ 03-5963-4451 FAX03-5963-4461

<http://www.ozorasha.co.jp>

「四国新聞」2019年7月25日掲載広告

ないば げんそう

詩集

# 内場幻想

宮武孝吉 著

みやたけ たかよし



平成二十四年六月二十八日

内場池は満水の深いみどりの水をたたえて

静まりかえっていたが

やがて

底の方からこどもたちの囃し声が沸きかえってきた

大空社出版

内場

ないば

(元) 香川県香川郡安原上西村字内場

(現) 香川県高松市塩江町上西乙

内場池

昭和二十七年、内場ダムの完成で

「内場」ほか数集落がダムの底に沈んだ。

香川(ないば)の生んだ孤高の詩人  
半世紀を超える作品から編んだ  
80歳にしてなす処女詩集

宮武孝吉  
内場幻想

〈目次〉

内場幻想

ちようちんじゃ、ぼんぼりじゃ  
たかばしこえたら、ゆうれんじゃ  
提灯じゃ、雪洞じゃ  
高橋超えたら、幽霊じゃ

七夕

内場のこどもたちはそれぞれ  
自分の家の竹藪から切り出してきた竹に  
願い事を書いた短冊を吊るして集まる  
山と山の間の狭い空いっぱい星が煌めく頃  
七夕飾りを揺らしながら集落の野道を練り歩く

ちようちんじゃ、ぼんぼりじゃ  
たかばしこえたら、ゆうれんじゃ  
提灯じゃ、雪洞じゃ  
高橋超えたら、幽霊じゃ  
と、唱えながら

桧から小向へ溪谷を渡る  
ワイヤロープで吊り下げ  
板を並べた高橋を  
ゆらゆらゆるがしながら渡る

(部分)

詩集に寄せて……菰淵和士

I 春に

五月の空

水死体

池

悲シミノ上二

告別式

II 供血

人間不在

漁夫と少女

朝の歌

あるとき

渋谷にて

はだか電球の下にて

誰が原野を焼き払ったのか

大岡信を読んでいたら

魔術師

八月十五日

サーのこと

家の履歴書(一)

家の履歴書(二)

III 内場幻想

香具師

小さな灯り

亀

友逝く

富士山のこと

神社の彫刻

富岡製糸場のこと

昭和の記憶

思い出

メタセコイア

債権者

高松

著者紹介 宮武孝吉 (みやたけ たかよし)

昭和13年(1938)、東京市本郷区(現文京区)生まれ。昭和19年、香川県の母親の実家に縁故疎開、高校卒業まで香川県で育つ。千葉県佐倉市在住。千葉県詩人クラブ会員、中大詩友会・視界・現代詩の会・詩人会議元会員。著書に、『歩いてみよう 志津 史跡・いまむかし』(平成30・大空社出版)。

詩集 内場幻想

(ないばげんそう)

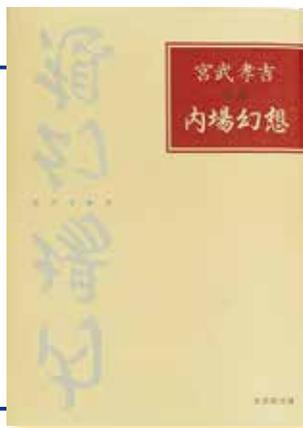
宮武孝吉 著

[大空社出版 2019年7月刊]

ISBN978-4-908926-62-4

A5判・107頁・並製・カバー装

定価(本体 1,200円+税)



発行

学術資料出版

大空社出版



www.ozorasha.co.jp

東京都北区中十条 4-3-2 (〒114-0032)  
TEL:03-5963-4451 / FAX:03-5963-4461  
eigy@ozorasha.co.jp